

大阪市生物多样性戦略について

● 2050年めざすまちの姿「生物多样性の恵みを感じるまち」●

自然や生き物との
関わりを
実感できるまち

生物多样性を
保全するまち

生物多样性の
恵みを未来に
つなげていくまち

淀川のウナギ漁
(提供:大阪市漁業協同組合)

自然体験観察園

大阪城公園

大阪市域生き物調査

御堂筋のイチョウ並木

屋上緑化(なんばパークス)
(提供:南海電気鉄道株式会社)

十三千潟

●「生物多样性の恵みを感じるまち」に向けた取組みの方向性●

「生物多样性の恵みを感じるまち」を実現していくためには、市民・環境NGO/NPO・事業者・研究機関・教育機関・行政などが生物多样性を意識した上で、様々な取組みを推進するとともに、情報発信していくことも重要です。

生物多样性に関連する様々な主体が集い、情報共有を行い、つながりを拡大・強化していくため、花博記念公園鶴見緑地にある環境活動推進施設(愛称「なにわECOスクエア」)や既存のネットワークの仕組みも活用しながら、より多くの人々に生物多样性の意味を知り、自然や生き物を身近に感じてもらえるよう、各主体が行う取組みの情報発信を積極的に行っていきます。

大阪は生態系サービスをもたらす恵みの消費地であり、生物多样性の主流化を図ります。

生物多样性の状況についての情報発信、多方面との有機的なつながりを強化します。

一人ひとりが生物多样性の問題を認識し、これを解決するための行動変容を促進します。



大阪市では・・・

市ホームページをはじめ、大阪市環境学習情報サイト「なにわエコスタイル」やSNSでの情報発信を行っています。



● 2030年度までの目標達成に向けた4つの基本戦略 ●

- 基本戦略A**
 生物多样性の発見と行動の展開
- 基本戦略B**
 自然空間の保全・創造
- 基本戦略C**
 生物多样性に配慮した生産・消費への変革
- 基本戦略D**
 都市・地球環境問題に対する取組み

12の方針・50の具体的施策

連携・協働した取組みの推進

【2030年度までの目標】

- 生物多样性の保全と持続可能な利用(※)を促進する。
 ※豊かな生物多样性を保全し、その恵みを将来にわたり享受できる自然共生社会の取組み
- 生物多样性の保全のため、多様な主体との連携・協働を推進する。
- 自然や生き物を身近に感じる市民の割合(※)を50%以上にするともに、生物多样性保全に貢献する取組みを行う市民等を増やしていく。
 ※都市にいながらも日々の暮らしの中で、自然や生き物との関わりを実感できる市民の割合

● 大阪市生物多样性戦略推進の概念図 ●

